2020 年 12 月 22 日

PhillipCapital
Your Partner In Finance

フィリップ証券株式会社

ウィルマー・インターナショナル（WLIL）

植物油需給のタイトな状況が続く見通しのほか、中国子会社のチャイネクストへの上場に伴う中国市場強化へ

シンガポール｜農産物｜業績フォロー

BLOOMBERG WIL:SP ｜REUTERS WLIL.SI

- 2020/12期3Q（7-9月）は、売上高が前年同期比19.3%増、EBITDAが同19.8%増、純利益は同20.0%増の増収増益。全部門・事業が増益。
- 衛生面で高品質な製品を求める消費者需要の高まりに加え、都市封鎖解除に伴う宿泊・外食などの需要増も業績への追い風となった。
- 植物油需給のタイトな状況が続く見通しのほか、中国子会社のチャイネクストへの上場に伴う中国市場強化が成長を後押ししよう。

What is the news？

10/30発表の業績概要報告によれば、2020/12期3Q（7-9月）は売上高が前年同期比19.3%増の133.17億USD、EBITDAが同19.8%増の10.87億USD、純利益が同20.0%増の5.36億USD、非継続事業利益や営業外項目、および生物資産に係る公正価値変動を除くコア純利益が同19.6%増の5.01億USDだった。巣ごもり消費拡大および消費者の高付加価値製品志向に加え、減退していた宿泊・外食などの需要が都市封鎖解除に伴う反動増により同社製品の販売を押し上げたこともあり、全部門・事業が増益だった。

事業セグメント別の販売数量は以下の通り。①食料製品部門（消費者向け製品事業、ミディアム・バラ包装製品事業）は、前年同期比15.9%増の742万トン。その内、消費者向け製品が同18.2%増の245万トン、ミディアム・バラ包装製品が同14.8%増の496万トンだった。同社が事業展開する地域の大半で都市封鎖が解除されたことにより、ミディアム・バラ包装製品向けの砂糖や小麦粉などの販売数量が伸びた。②飼料・工業製品部門（トロピカルオイル事業、油糧種子・穀物加工事業、製糖事業）は、同16.1%増の1,645万トン。その内、トロピカルオイルが同7.5%減の560万トン、油糧種子・穀物加が同23.7%増の630万トン、砂糖が同50.7%増の454万トンだった。砂糖のマーケティング活動や大豆の搾油活動の強化が奏功したほか、トロピカルオイル事業の精製マージンの向上、および砂糖価格など商品相場の堅調な推移を背景としたプランテーションや製糖事業の堅調な推移が示された。

How do we view this？

中国の新型コロナウイルス封じ込めと経済正常化、および衛生面で高品質な製品を求める消費者需要の高まりに伴い、アジアの都市封鎖が解除された地域全域で同社製品の販売量が伸びている。また、植物油の需給がタイトな状況が2021年も続く見通しの下、トロピカルオイル事業の加工マージンや油糧種子事業のクラッシ（搾油）マージンが高止まりする状況が続くとみられるほか、砂糖価格も上昇が見込まれる。

更に、中国子会社のイハイ・ケリー・アラワナ・ホールディングスは深セン証券取引所におけるベンチャー企業向け市場であるチャイネクスト（創業板）に10/15に上場を果たし、約2,140億円相当額の資金調達を実現。中国への進出強化が同社グループの成長に寄与すると見込まれる。

（※）業績は米ドル（USD）、株価はシンガポールドル（SGD）表記

配当予想（USD）	**0.13**	（予想はBloomberg）
終値（SGD）	**4.40**	2020/12/21

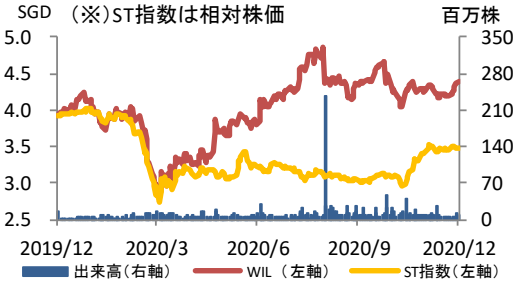
会社概要

1991年にシンガポールの富豪として有名なクー一族のクオック・クーホンとインドネシアの富豪マルチュア・シトラスにより設立。現在の筆頭株主は世界2大穀物メジャーの一角を占めるアーチャー・ダニエルズ・ミッドランド（ADM）であり、世界最大のパーム油企業であるほか、農産品生産企業としても世界5位以内に数えられている。

同社の部門セグメントは、食料製品部門、および飼料・工業製品部門から構成される。①食料製品部門は、「消費者向け製品事業」および「ミディアム・バラ包装製品事業」を営む。②飼料・工業製品部門は、プランテーション農業やヤシ油・パーム油・パーム核油などのトロピカルオイル（熱帯油）を取り扱う「トロピカルオイル事業」、油糧種子の搾油や食用油精製、油に係る消費者向け製品の製造・販売を行う「油料種子・穀物加工事業」、砂糖の製造のほか小麦の製粉・精米なども手掛ける「製糖事業」を展開する。

企業データ （2020/12/22）

ベータ値	0.87
時価総額（百万SGD）	27,798
企業価値=EV（百万SGD）	56,376
3ヵ月平均売買代金（百万SGD）	47.3



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主 （2020/12） （%）

1.ｱｰﾁｬｰ･ﾀﾞﾆｴﾙｽﾞ･ﾐｯﾄﾞﾗﾝﾄﾞ	22.23
2.KUOK BROTHERS SDN BHD	18.56
3.KERRY GROUP LTD	5.76

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

業績推移

※参考レート 1USD=103.32円、1SGD=77.52円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万USD)	43,573	44,497	42,640	47,189	50,551
当期利益（百万USD）	1,195	1,125	1,293	1,344	1,434
EPS（USD）	0.19	0.18	0.20	0.21	0.23
PER（倍）	23.16	24.44	22.00	20.85	19.38
BPS（USD）	2.52	2.54	2.64	2.82	2.95
PBR（倍）	1.75	1.73	1.67	1.56	1.49
配当（USD）	0.07	0.08	0.09	0.13	0.11
配当利回り（%）	1.59	1.82	2.05	2.95	2.50

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社　〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号
TEL:03-3666-2101　　URL：http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人　日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト　笹木和弘
リサーチ部　李　一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則　平 14.1.25」に基づく告知事項＞
・　本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。